

花いっぱい! 早春の房総を旅しよう

新年の始まりとともに、温暖な千葉県には一足早く春が訪れます。
花々の香りに包まれて、春の息吹を感じる旅に出かけてみませんか。

- ★掲載の他にも多くの観光スポットがあります。詳しくはホームページ「ちば観光ナビ」をご覧ください。
- ★旬の観光情報がギュッと詰まったパンフレット「ちばnote」を駅や観光案内所などで配布しています。

問い合わせ
県観光誘致促進課
TEL043-223-2412 FAX043-225-7345



ちば
観光ナビ



観光情報誌
ちばnote
チーバくんが
目印!



千葉 観光 検索

ちばを彩る花々に会いに行く

※花の見頃は天候などの影響により変わります。
詳しい状況は各所へお問い合わせください。

チューリップまつり

【船橋市：ふなばしアンデルセン公園 ちば文化資産】

見頃 12月下旬～1月下旬

特殊な栽培方法で真冬に開花するアイスチューリップが見どころ。園内は20種類約4万株の色とりどりのチューリップで彩られます。



☎ふなばしアンデルセン公園
TEL047-457-6627

佐久間ダム湖親水公園

見頃 12月中旬～1月下旬(水仙) 【鋸南町】

佐久間ダム湖周辺には「をくづれ水仙郷」と呼ばれる名所があり、水仙を見ながらハイキングが楽しめます。2月上旬からは「頼朝桜」の愛称で親しまれる河津桜が見頃を迎え、「頼朝桜まつり」が開催されます。



☎鋸南町観光協会 TEL0470-55-1683

菜な畑ロード2024

見頃 1月上旬～3月上旬 【鴨川市】

1万坪の田んぼ一面に咲く菜の花はまるで黄色のじゅうたん! フォトコンテストやミニトレイン乗車イベントも開催されます。



イベント 1月6日(土)～3月3日(日)
9時30分～15時
☎(一社)鴨川市観光協会 TEL04-7092-0086

いすみ鉄道の景観

【いすみ市～大多喜町】

見頃 2月中旬～3月下旬(菜の花)

「菜の花列車」の愛称で知られるいすみ鉄道の沿線に菜の花が咲き誇ります。3月下旬に見頃を迎える桜との共演を楽しむことができるかも。



☎いすみ市観光協会 TEL0470-62-1243

坂田城跡天空の梅まつり

見頃 2月中旬～3月上旬 【横芝光町】

室町時代中期に千葉一族によって築かれ、戦国時代に改修された坂田城。城郭遺跡にある梅林は県内最大級の広さで、キッチンカーや梅加工品の販売などでにぎわいます。



☎(一社)横芝光町観光まちづくり協会
TEL0479-74-8585

しらこ温泉桜祭り

見頃 2月中旬～3月上旬 【白子町】

県道30号線沿いをはじめ、白子町内に早咲きの桜である「しらこ桜」が植えられています。祭りの期間中の18時～21時にはライトアップされた夜桜が楽しめます。



☎白子町観光協会 TEL0475-33-2117

2日間乗り放題! おトクに県内を巡る サンキュー♥ちばフリーパス

県内のJR線と一部の鉄道、路線バス、フェリーが2日間乗り放題になるフリーパスを発売します。便利でおトクなパスを使って観光スポットを巡ってみませんか。

発売額 大人3,970円、子ども1,980円

発売期間 1月4日(木)～2月28日(水)

利用期間 2月29日(木)までの連続する2日間

発売箇所 県内のJR主要駅の指定席券売機

問い合わせ 県観光誘致促進課
TEL043-223-2412



観光スポット例

●犬吠埼灯台 ちば文化資産

全国に16基しかない登れる灯台のうちの1つです。
交通 銚子電鉄犬吠駅から徒歩10分



●白間津のお花畑

1月からキンセンカやポピー、ストックなどの花摘みが楽しめます。



交通 JR千倉駅から日東交通バス「白間津のお花畑」下車すぐ

GOGO房総デジタルポイントラリーで 千葉の魅力、新発見!

県内の観光スポットを巡りながら、スマートフォンを使ってポイントを集めるデジタルポイントラリーを開催中!

ポイントに応じて、県産品や千葉県誕生150周年賞などのすてきなプレゼントが当たる抽選に応募できます。

期間 2月29日(木)まで

問い合わせ GOGO房総デジタルポイントラリー事務局
TEL0120-380-076



まつばらのぶお (祝) 松原伸生さん

重要無形文化財の保持者(人間国宝)に認定!

令和5年10月、江戸時代から伝わる染色技法の「長板中形」が重要無形文化財に指定され、君津市在住の染色作家 松原伸生さんが保持者(いわゆる人間国宝)に認定されました。県内で人間国宝の認定は20年ぶりとなります。



【プロフィール】 1965年東京都江戸川区に生まれる。都立工芸高等学校デザイン科を卒業後、19歳の時に君津市に移住。染色作家の父に師事しながら伝統的な長板中形の染色技法を習得。2017年県の指定無形文化財保持者として認定。2021年紫綬褒章を受章。

長板中形とは?

型紙を使った日本の伝統的な染色法である型染の一種。反物の両面に糊を置いて藍に浸し、白く染め残すことで文様を浮かび上げさせます。表裏でぴったり重なるように文様を出すのが特色です。主に江戸時代中期以降、浴衣染めの技法として定着しました。

「長板中形」の名称は、約6.5mの長い板に生地を張って糊置き(型付)すること、文様が小紋より大きく、大紋より小さい(中ぐらいである)ことに由来します。



長板中形着物「幾何文」松原伸生作
提供: 君津市立久留里城址資料館
撮影: MegumiSakaguchi

松原さんの卓越した技術!

伊勢型紙を用いた型染で、反物幅の短い型紙を、一反(約13m)の布に寸分の狂いなくつなげて染め上げます。精緻で美しい作品は多方面から高い評価を得ています。

問い合わせ 県教育庁文化財課

TEL043-223-4082

FAX043-221-8126

写真一部拡大